

2024年2月15日
東海旅客鉄道株式会社

イノベーション創出促進拠点「FUN+TECH LABO」が 神奈川県相模原市にオープン ～最先端技術の知見を持つ有識者とともによりイノベーション創出へ～

東海旅客鉄道株式会社（以下、JR 東海）は沿線都市と移動の価値を向上し、人々の豊かな暮らしを実現することを目指しています。昨年11月に神奈川県、相模原市と締結した連携協力協定に基づき、2024年3月25日、神奈川県相模原市にイノベーション創出促進の拠点となる「FUN+TECH LABO」（ファンタステックラボ）をオープンしますのでお知らせします。

1. FUN+TECH LABO について

- ・ JR 東海が整備・運営する同拠点では、「中央新幹線神奈川県駅（仮称）の周辺開発を契機としたさがみロボット産業特区におけるイノベーションの創出促進に係る連携と協力に関する協定書」（2023年11月1日締結）に基づき、神奈川県、相模原市と相互に連携・協力し、最先端技術の知見を持つ有識者や団体、市民が、共創により人々がワクワクするようなイノベーションの創出を目指します。また、同じくイノベーションの創出促進を目的とした相模原市の委託事業も行います。



(左) オフィス棟



コミュニケーション棟 内観

- ・ 同拠点はイノベーション創出に取り組む団体が利用するオフィス棟（7室）と、イノベーション創出に資する様々なセミナーやイベントを開催したり、市民が打合せの際にご利用いただけるコミュニケーション棟を併設しています。

ロゴ

FUN+TECH LABO

[名称及びロゴに込めた思い]

より良い未来を創りたい。
そんな思いを持つ人々が集い、技術や知見
（TECH）を掛け合わせて日々の生活のワクワク
（FUN）につながるイノベーションを起こす。
そんな場所にしたいという思いを込めました。

※画像はすべてイメージです。

2. FUN+TECH LABO の特長

(1) 有識者の協力

- ・本拠点では、オフィスを利用する団体を中心として、市民の皆さんをはじめ、多くの方にイノベーションと感じて頂けるような実証実験や社会実装に向けた取り組みを行います。有識者には、こうした取り組みについて立案・アドバイスを頂くほか、各種セミナー・イベントの企画への協力を頂く予定です。

<有識者名> ※50音順、敬称略、略歴は別紙参照

- 加藤真平 (株式会社ティアフォーCEO 兼 CTO)
- 神戸洋史 (公益社団法人日本鑄造工学会事務局長)
- 佐藤英一 (JAXA 宇宙科学研究所教授)
- 須田義大 (東京大学生産技術研究所教授)
- 松尾豊 (東京大学大学院工学系研究科教授)
- 暦本純一 (東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授)
- 渡部俊也 (東京大学未来ビジョン研究センター教授)

(2) 株式会社ティアフォーの参画

- ・本拠点の構想策定の段階から株式会社ティアフォーの加藤真平 CEO 兼 CTO に参画頂いています。加藤真平 CEO 兼 CTO からのコメントは以下の通りです

<株式会社ティアフォー概要>

本社所在地：愛知県名古屋市中村区名駅 1-1-3 名古屋大学オープンイノベーション拠点

事業内容：自動運転システムの開発及びプラットフォーム事業



大学発ベンチャーのティアフォーは「自動運転の民主化」をビジョンに掲げ、世界中の人々がいつでもどこでも、自動運転の価値を享受できる社会の実現を目指しています。このたび、中央新幹線や沿線都市のまちづくりに関わる JR 東海との連携が始まります。高速鉄道と自動運転の統合により、ヒトやモノの新しい移動手段が生まれ、新たな価値や体験が提供されます。ティアフォーは、最先端技術と地域コミュニティが融合したウェルビーイングに満ちた新しいまちづくりに貢献します。

(3) 各種セミナー・イベント等の実施

- ・イノベーション創出に必要な知見を持つ有識者によるセミナーや、市民の皆さんをはじめ、多くの方に最先端技術が実装されたワクワクする暮らしを感じて頂けるイベントを開催します。

(4) 環境にやさしい構造

- ・建材に、東海道新幹線再生アルミや、相模原市「さがみはら津久井産材利用促進・普及啓発事業補助金」を活用した相模原市産木材であるさがみはら津久井産材を用いるなど、繰り返し移築使用が可能な、環境に配慮した建築物です。

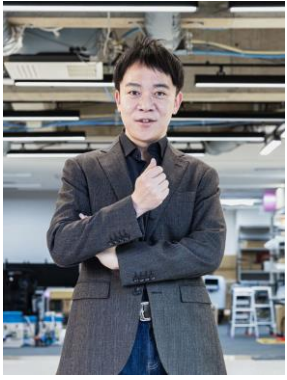
3. 開業日

- ・2024年3月25日(月)

4. 拠点の概要

所在地	神奈川県相模原市緑区橋本二丁目 356 番 1 ※神奈川県用地 (2023/11/1 付土地賃貸借契約締結)
レンタルオフィス	オフィス棟に 7 室
延床面積	351.23 m ²
デザイン	株式会社アンデザイン
構造設計	株式会社飯島建築事務所
意匠設計・施工	株式会社長谷萬・株式会社アンデザイン建設工事共同企業体

別紙 協力頂く有識者(50音順)



加藤真平(株式会社ティアフォー代表取締役CEO兼CTO)

Shinpei Kato

1982年生まれ。2008年慶應義塾大学博士(工学)。国際的なコンピュータサイエンスの研究者として知られ、数々の著名論文を発表。自動運転ソフトウェア「Autoware」を開発しオープンソースとして公開。

2015年12月1日にティアフォーを創業。

2018年に国際業界団体The Autoware Foundationを設立。



神戸洋史(公益社団法人 日本鋳造工学会事務局長)

Hiroshi Kambe

1984年早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。84年早稲田大学鋳物研究所助手、85年早稲田大学理工学部助手を経て86年日産自動車株式会社に入社し、鋳造技術、特にアルミニウム合金の鋳造技術の研究開発に従事。94年同社シニアリサーチチャー、2007年鋳造技術エキスパートリーダー等を経て21年退職。22年より現職。



佐藤英一(JAXA宇宙科学研究所教授・宇宙科学プログラムディレクター)

Eiichi Sato

1985年東京大学大学院修士課程(金属材料学)修了。同年宇宙科学研究所助手、89年工学博士(東京大学)、94年助教授、2006年教授を経て、19年より現職(プログラムディレクター兼務)。東京大学大学院マテリアル工学専攻教授を兼任。宇宙飛翔体(ロケット、衛星、探査機など)で使われる材料の強度・信頼性に関する専門家。



須田義大(東京大学生産技術研究所教授)

Yoshihiro Suda

1987年東京大学大学院博士課程(産業機械工学)修了。法政大学助教授、カナダクイーンズ大学客員助教授などを経て、東京大学生産技術研究所教授。東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構長。鉄道車両工学、自動車工学、ITS(高度道路交通システム)、人間工学・快適性評価など幅広い研究に従事。

別紙 協力頂く有識者(50音順)



松尾豊(東京大学大学院工学系研究科教授)

Yutaka Matsuo

1997年東京大学工学部電子情報工学科卒業、2002年同大学院博士課程修了、博士(工学)。同年より産業技術総合研究所研究員、05年スタンフォード大学客員研究員、07年東京大学大学院工学系研究科准教授等を経て、19年より現職。2002年人工知能学会論文賞、07年情報処理学会長尾真記念特別賞受賞。17年より日本ディープラーニング協会理事長。19年よりソフトバンクグループ社外取締役。21年より新しい資本主義実現会議有識者構成員。23年よりAI戦略会議座長。専門は、人工知能、深層学習、Webマイニング。



暦本純一(東京大学大学院情報学環教授)

Jun Rekimoto

1961年 東京都生まれ。86年東京工業大学大学院理工学研究科情報科学科修士過程修了後、日本電気株式会社入社。同社退職後92年カナダ・アルバータ大学コンピュータグラフィックス研究所研究員、94年株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所に勤務し、96年東京工業大学大学院理工学研究科博士(理学)取得。99年株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所インタラクションラボラトリー室長を経て2007年より現職。ソニーコンピュータサイエンス研究所フェロー・CSOを兼任。人間拡張学の第一人者。



渡部俊也(東京大学未来ビジョン研究センター教授)

Toshiya Watanabe

1959年東京都生まれ、84年東京工業大学無機材料工学専攻修士課程修了。その後、民間企業を経て、94年同大学無機材料工学専攻博士課程修了(工学博士)。98年東京大学先端科学技術研究センター客員教授、2001年同センター教授を経て現職。現在は東京大学執行役・副学長を務める。一般社団法人日本知財学会理事(会長)などを兼任。政府の知的財産戦略本部構想委員会座長、経済安全保障分野におけるセキュリティ・クリアランス制度等に関する有識者会議座長などを兼務。